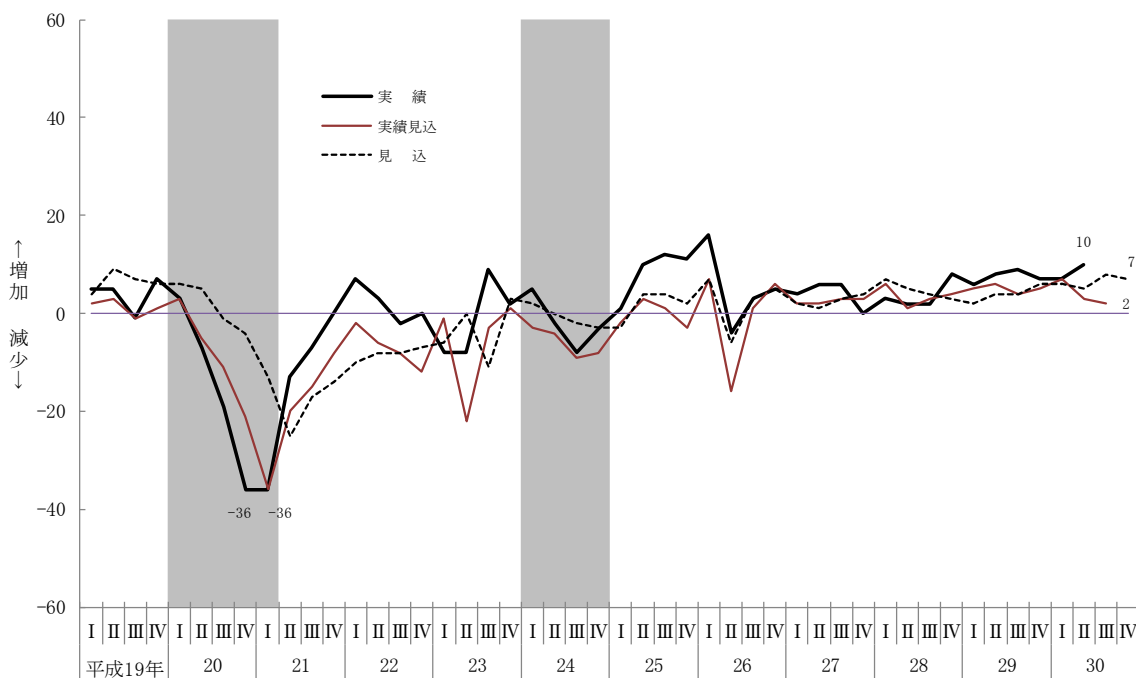


## V 統計図表

### 第1図 生産・売上額等判断D.I. (季節調整値)の推移

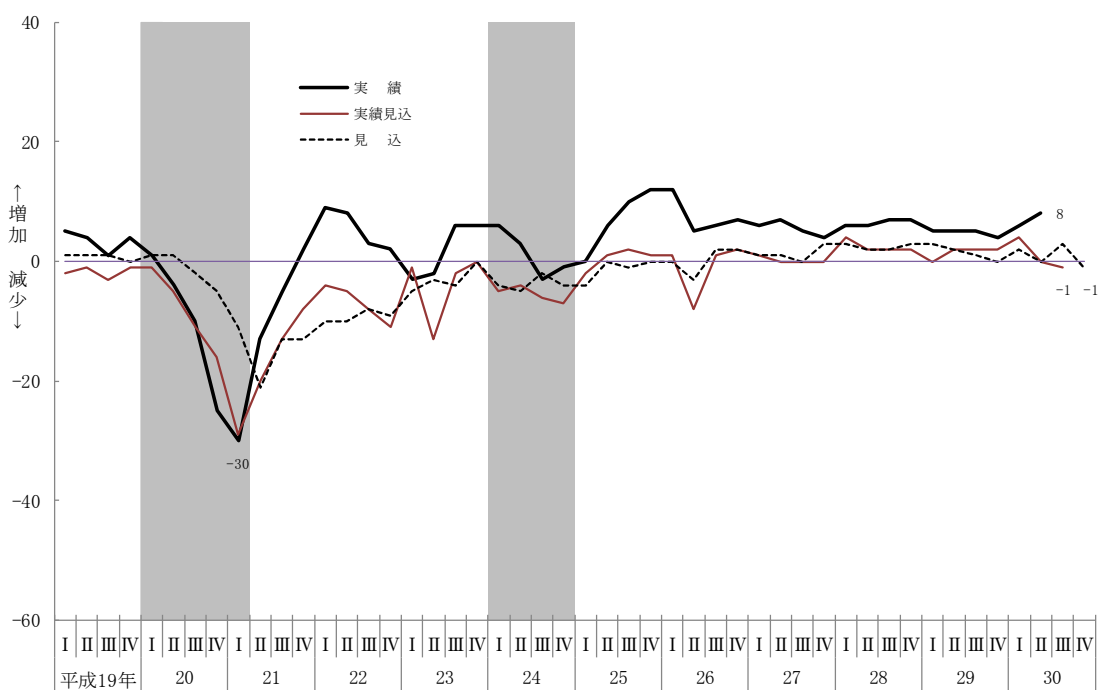
調査産業計  
(ポイント[増加(%) - 減少(%)]



- 注:1) 「生産・売上額等判断D.I.」とは、当該期を前期と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。  
 2) ローマ数字は四半期( I : 1~3月、II : 4~6月、III : 7~9月、IV : 10~12月)を示す(以下同じ)。  
 3) 網掛け部分は内閣府の景気基準日付による景気後退期(平成20年2月~平成21年3月、平成24年3月~平成24年11月)を示す(以下同じ)。  
 4) 無回答を除いた集計による。

### 第2図 所定外労働時間判断D.I. (季節調整値)の推移

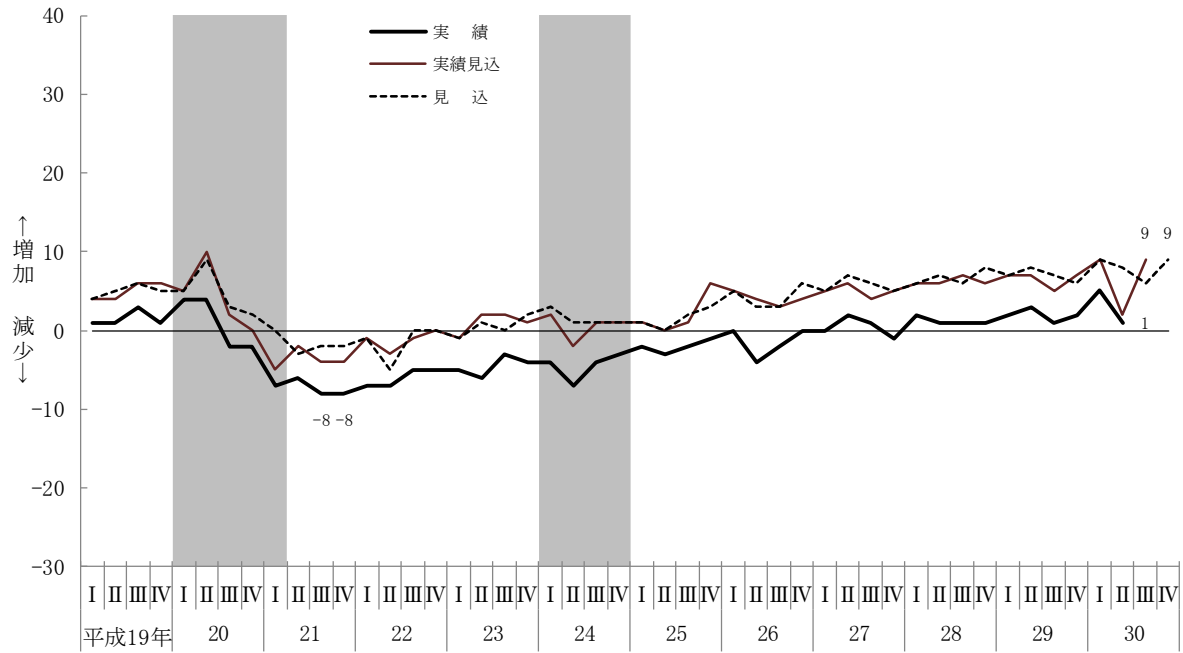
調査産業計  
(ポイント[増加(%) - 減少(%)]



- 注:1) 「所定外労働時間判断D.I.」とは、当該期を前期と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。  
 2) 無回答を除いた集計による。

### 第3図 正社員等雇用判断D.I.（季節調整値）の推移

調査産業計  
(ポイント[増加(%) - 減少(%)])



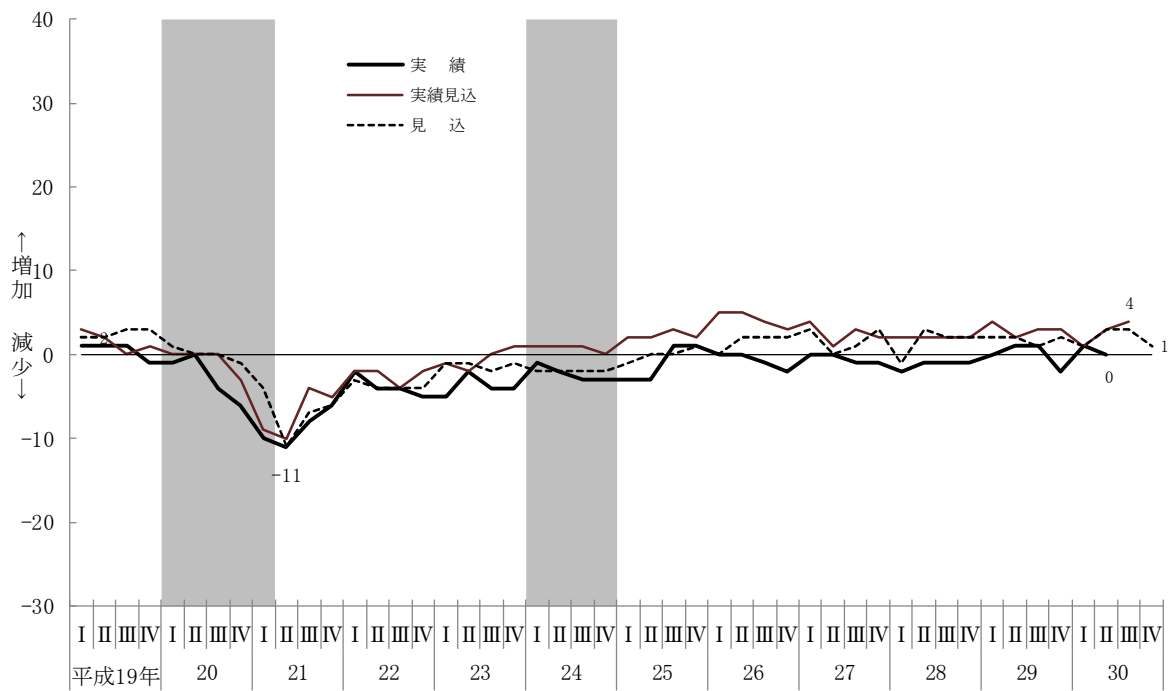
注:1) 「正社員等」については、平成19年11月調査以前は「常用」として調査していた。そのため、実績は平成19年IV期、実績見込は平成20年I期、見込は平成20年II期以降の数値とは厳密には接続しない。

\*「常用」…雇用期間を定めずに雇用されている者をいう。パートタイムは除く。

- 2) 「雇用判断D.I.」とは、当該期間末を前期間末と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。
- 3) 無回答を除いた集計による。

### 第4図 パートタイム雇用判断D.I.（季節調整値）の推移

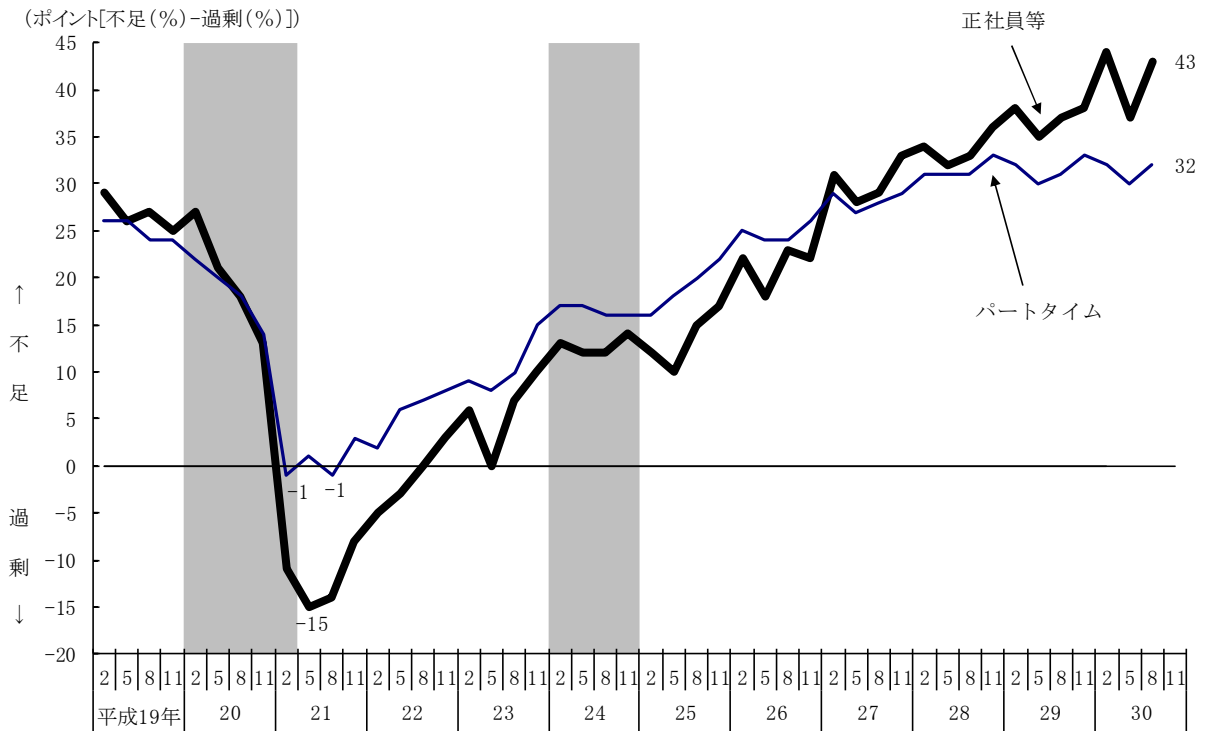
調査産業計  
(ポイント[増加(%) - 減少(%)])



注:1) 「雇用判断D.I.」とは、当該期間末を前期間末と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。

- 2) 無回答を除いた集計による。

第5図 雇用形態別労働者過不足判断D. I. の推移 (調査産業計)



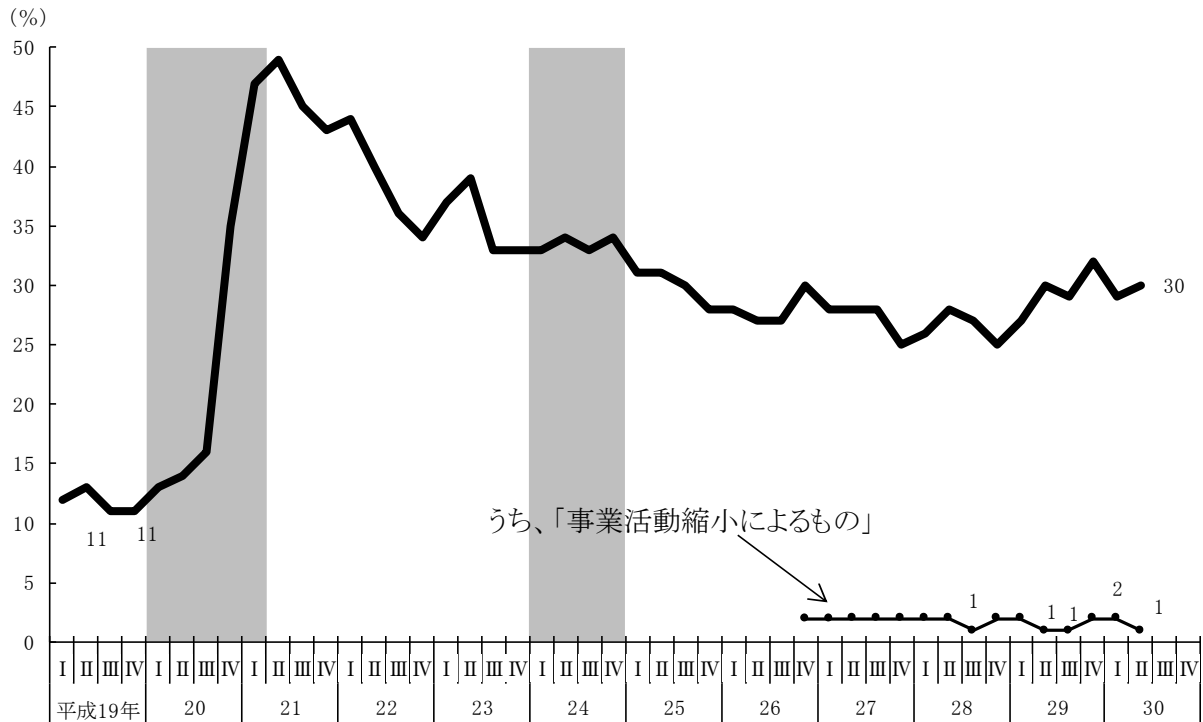
注:1)「正社員等」については、平成19年11月調査以前は「常用」として調査していたため、平成20年2月調査以降の数値とは厳密には接続しない。  
\*「常用」・・・雇用期間を定めずに雇用されている者をいう。パートタイムは除く。

2)「労働者過不足判断D.I.」とは、「不足」と回答した事業所の割合から「過剰」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。

3)グラフ横軸の「2」は2月1日現在、「5」は5月1日現在、「8」は8月1日現在、「11」は11月1日現在の状況を示す。

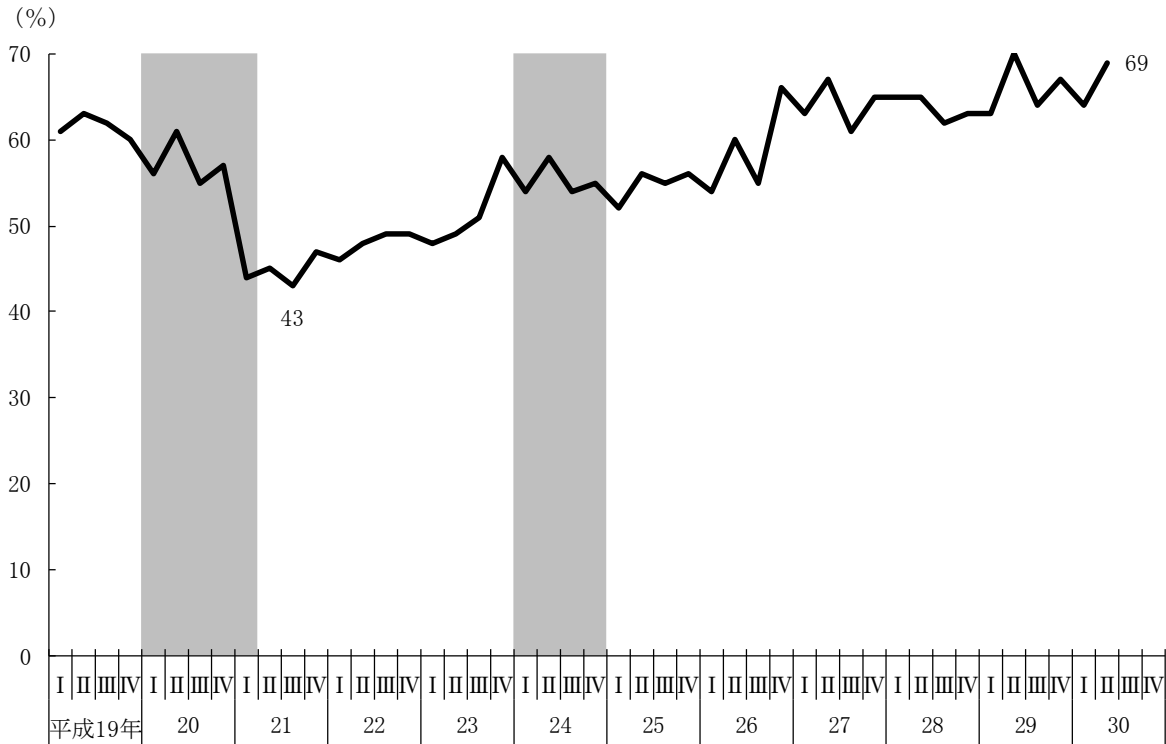
4)無回答を除いた集計による。

第6図 雇用調整実施事業所割合の推移 (調査産業計・実績)



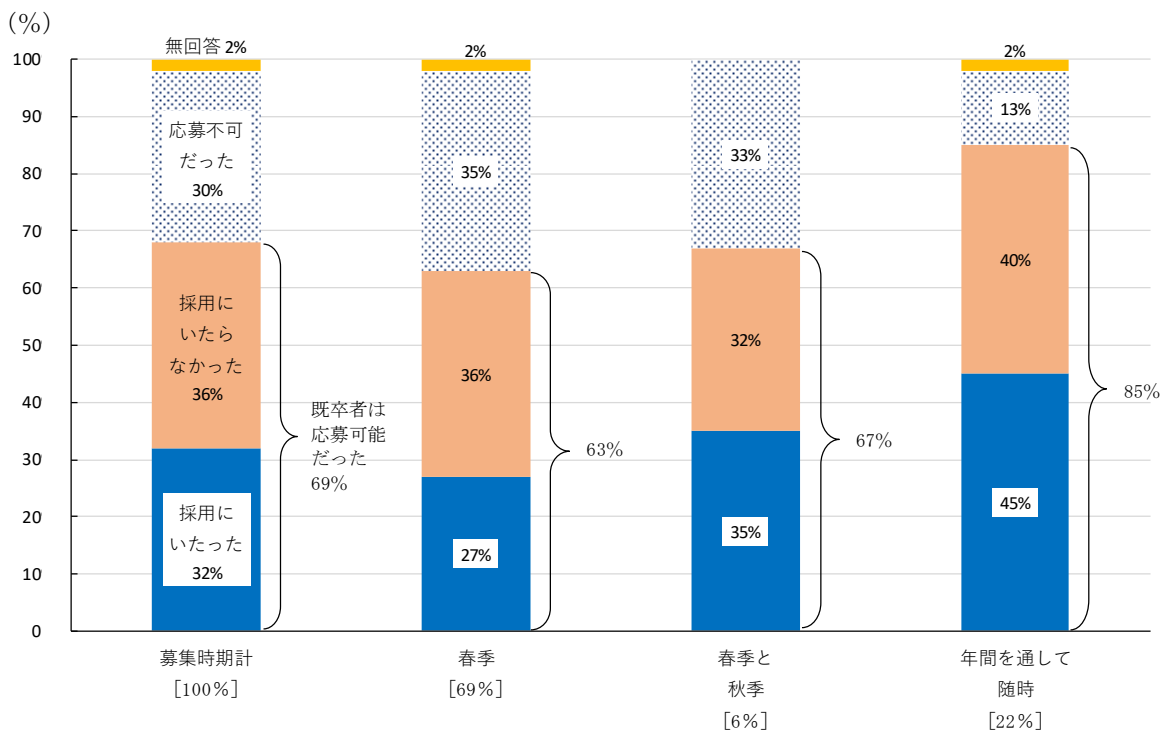
注: 無回答を「実施していない又は予定がない」とみなした集計による。

第7図 中途採用の実績がある事業所割合の推移（調査産業計・実績）



注:無回答を除いた集計による。

第8図 過去1年間における新規学卒者採用枠での正社員の募集時期別  
既卒者の応募の可否及び採用状況  
(調査産業計、平成30年8月1日現在)



注:1[ ]は、「新規学卒者の採用枠で正社員を募集した」を100とする事業所の割合である。

2)「新規学卒者の採用枠」とは、調査対象事業所で、新規学卒者として採用する場合をいう。

3)「正社員」とは、調査対象事業所で正社員とする者をいう。

4)「既卒者」とは、学校卒業後すぐに調査対象事業所に就職する者以外で、35歳未満の者をいう。勤務経験の有無は問わない。